

はまぐちてついちぜんかんさつ みち
馬入水辺の楽校「浜口 哲一 自然観察の路」オープニングイベント

—「身近な自然を感じよう in 馬入水辺の楽校」—

○イベントの概要

馬入水辺の楽校の運営に功績のあった故・浜口哲一氏がなくなられてから2年になります。

そこで、校内の自然観察路を追加整備し「浜口哲一自然観察の路」としてオープンします。これを記念し、「馬入水辺の楽校の会」の主催で自然観察イベントを実施します。

○イベントの日時、内容

平成24年6月2日（土）、3日（日） 両日とも9：00～16：00、雨天中止です。

※天候不順の場合の確認は、当日6：30以降に市役所守衛室または090-3212-4317（2日、3日の両日開催本部に設置）をお願いします。

<6月2日（土）のみ実施>

- ・自然観察の路オープニングセレモニー（9：00～9：30、雨天の場合6月3日へ順延）
パネル除幕式、市長あいさつなど

- ・ツリークライミング

10：00～、13：00～、14：40～の3回実施。

有料1,000円、事前応募制（すでに締切）。



- ・ネイチャーゲーム

10：30～の1回実施。

有料200円、事前応募制（すでに締切）。

※ネイチャーゲームとは…

自然の不思議や仕組みを発見し、自分と自然が一体であることを感じるためのゲーム。



<6月3日(日)のみ実施>

- ・やぎ島探検
10:00~の1回実施
有料200円、事前応募制(すでに締切)

※「やぎ島」水辺の楽校付近にある相模川の中洲。
以前はヤギが放し飼いになっていた
のでこの名があります。
潮が大きく引くと陸続きになります。



<両日とも実施>

- ・野鳥観察会
- ・校内の自然観察ガイド(両日とも午前・午後の2回)
- ・草笛・オカリナコンサート(両日とも12:00~)
- ・パネル展(水辺の楽校の会の活動や、校内の生き物を紹介)
- ・草笛教室、クズの輪投げ、ストーンペインティング など



※冬の野鳥観察の様子

○故・浜口哲一氏について

昭和22年、山梨県生まれ。東京大学農学系大学院修士課程修了。

平塚市博物館に設立準備の段階から携わり、平塚市博物館学芸員(動植物担当)、のちには平塚市博物館館長、日本野鳥の会神奈川支部長などもつとめる。平成22年5月没。

生き物の分布を調べる「生きもの地図」づくりを提唱され、全市的なタンポポ調査など、市民参加型の生き物調査を実施。

○「浜口哲一自然観察の路」について

水辺の楽校の散策路自体は、平成13年の開設時からあります。全長は1キロほど。

水辺の楽校の開設・運営に功績があった浜口哲一氏を記念するとともに、より自然と親しめるよう、「きっかけパネル」(自然の体験、発見につながるようなヒントを提示するパネル)や花垣(全長約50m、現状はヤブガラシを植栽。今後はガガイモ、スイカズラなどを追加の予定)などを追加整備して、「浜口哲一自然観察の路」と命名して今回オープンするものです。

きっかけパネルについては、浜口先生が自然観察イベントなどで話した内容をもとに、市民団体「馬入水辺の楽校の会」が新たに制作したもので、5月末頃までに設置の予定です。

以上